

非認知スキルの みとりについて

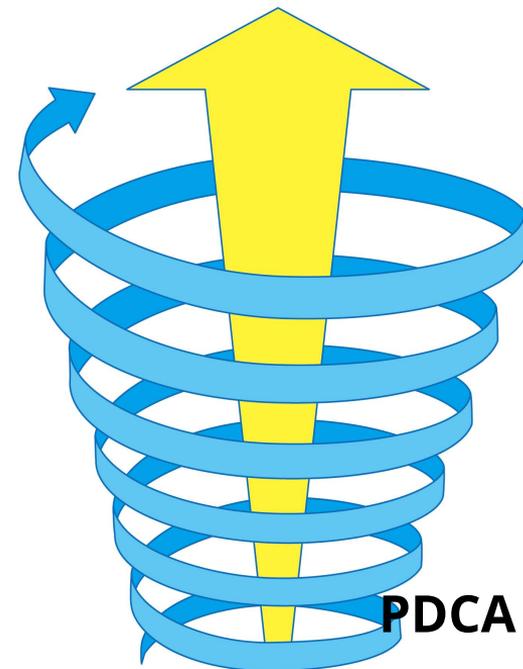
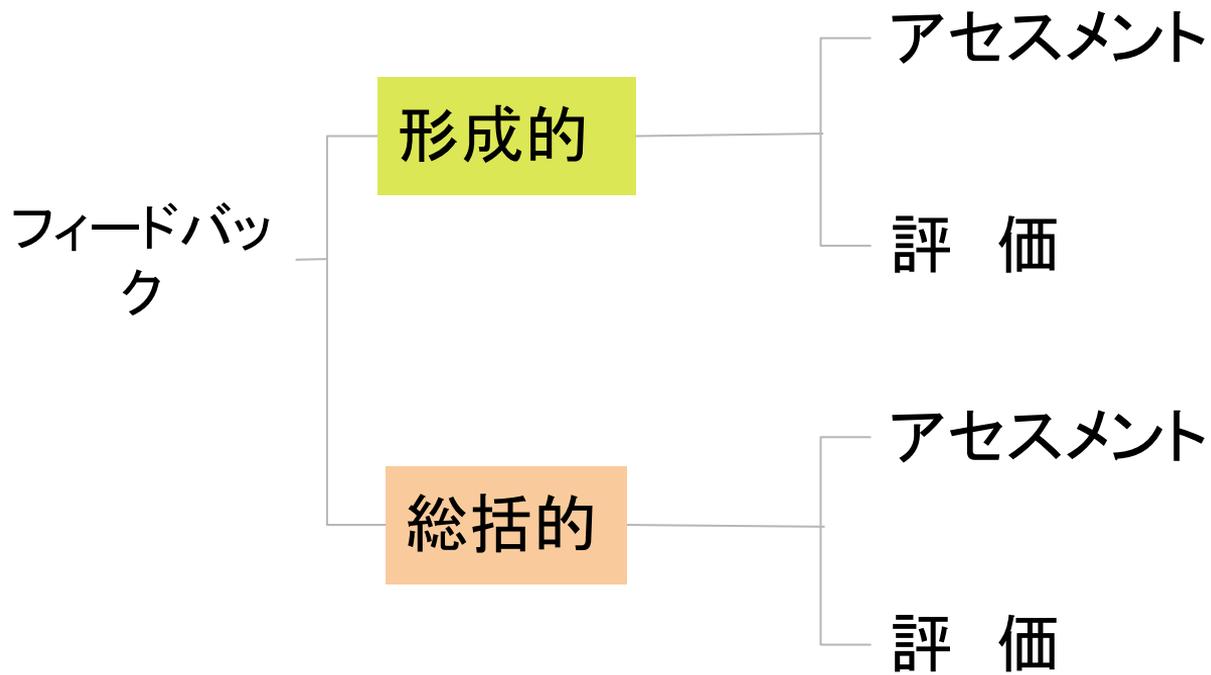
自由ヶ丘学園高等学校における
スパイラルアップの開発事例



自由ヶ丘学園高等学校

今井 朝子

手法の検討



手法の詳細

形成的

目的: 学生の学習をモニターして**継続的なフィードバック**を提供すること。

総括的

目的: ある基準や**ベンチマークと比較**することによって、教育期間の終わりに生徒の学習を評価すること。

アセスメント

実施内容: 学生の学習について**学生から教師にフィードバック**することである。

評価

実施内容: 生徒の学習について**教師から生徒にフィードバック**することである。

参考) [ASSESSMENT and EVALUATION – What is the difference Formative vs Summative Assessment - Eberly Center](#)

教育のデザイン

世界の仲間と共に

人類が平和的かつ協力的に共存することを学ばない限り、世界は望ましくない場所になるだろう。

Howard Gardner, John H. and Elisabeth A. Hobbs

Harvard Graduate School of Education

OECD Learning Compass 2030

自由ヶ丘学園高等学校のビジョン

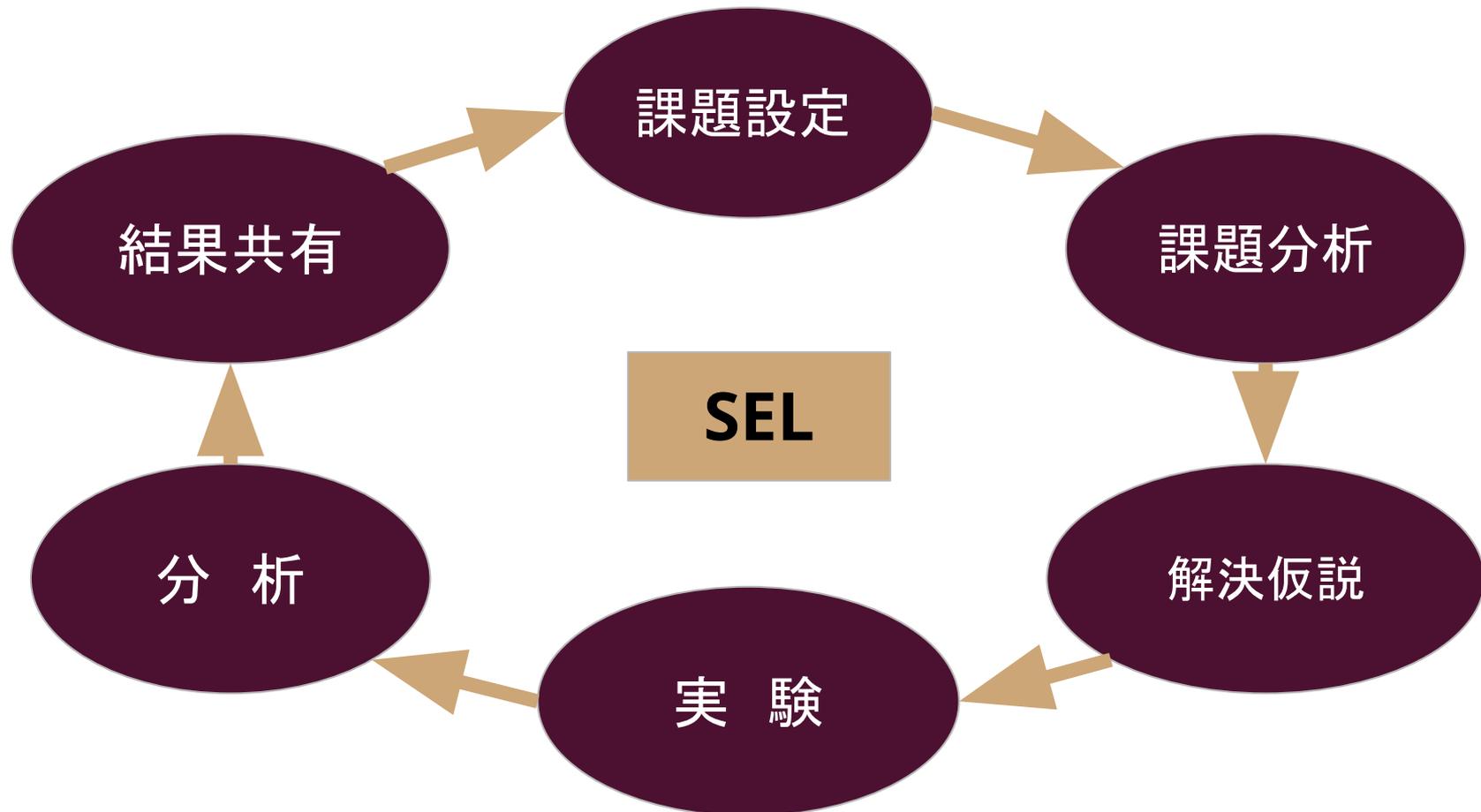
校訓

人に親しまれ信頼される人間になれ。

21世紀ビジョン

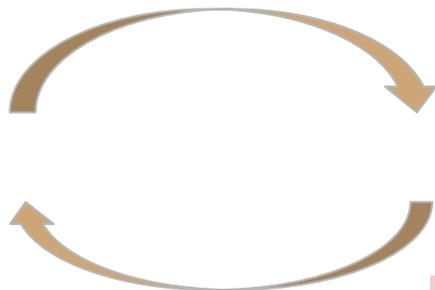
世界をより良い場所にするために、世界の多様な仲間とともに成長し、挑戦するを生徒育てる。

Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



自由ヶ丘学園のアプローチ

学 び
基礎



応 用
実世界での経験

従来型学業スキル

技術的スキル

社会性と情緒のスキル

国際社会

企 業

地 域

校 内

事例

2023年度 約400名が受講
1年生10クラス
2年生1クラス

人生の土台を築く

BESSI 32 Skill Assessmentの日本語

SEL JAPAN

形成的
アセスメント
評価

社会・情動・行動的スキルアセスメント（学校向け）

この度、Social Emotional and Behavioral Labが研究開発したBESSI 32 Skill Assessmentの日本語へのローカライズを、厳選された96問を使用して完了したことをお知らせします。

説明の下にあるボタンをクリックすると、社交、感情、行動スキルを測るアンケートが始まります。このアンケートにかかれている項目は、人間関係を築き維持したり、感情をコントロールしたり、目標を達成したり、経験から学ぶために重要なスキルです。目標設定スキル、リーダーシップスキル、チームワークスキル、クリエイティブスキル、エモーショナルマネジメントスキルなどが含まれます。

SEE Learning の授業

説明:
あたらしい概念
活動
振り返り



形成的 アセスメント 評価

100点

1. 問題は何ですか？

自分のやりたいことを仕事にするために生じる様々な問題

2. 解決策やアイデアは何ですか？

自分一人でやれる方法を考える

3. 聞いてもらいたい人は誰ですか？誰に対してプレゼンをしますか？（もう一人の自分？）

自分の親と自分に対してのプレゼン

4. なぜそれが、聴衆にとって重要ですか？

自分が考えている将来についての問題だから

5. 意外性がありますか？

今世界で人気になりつつある仕事だから意外性は少しある

6. なぜあなたが提案すべきだと思いますか？

自分が考えていることをしっかり伝えるべきだと思うから。

← 返信

洲

___/100

太

___/100

平

___/100



限定公開コメントを追加...



事例

- 自分が幸せになるために必要なことは知っている

YES

NO

形成的
アセスメント
ピア評価

違う考えなんだ!

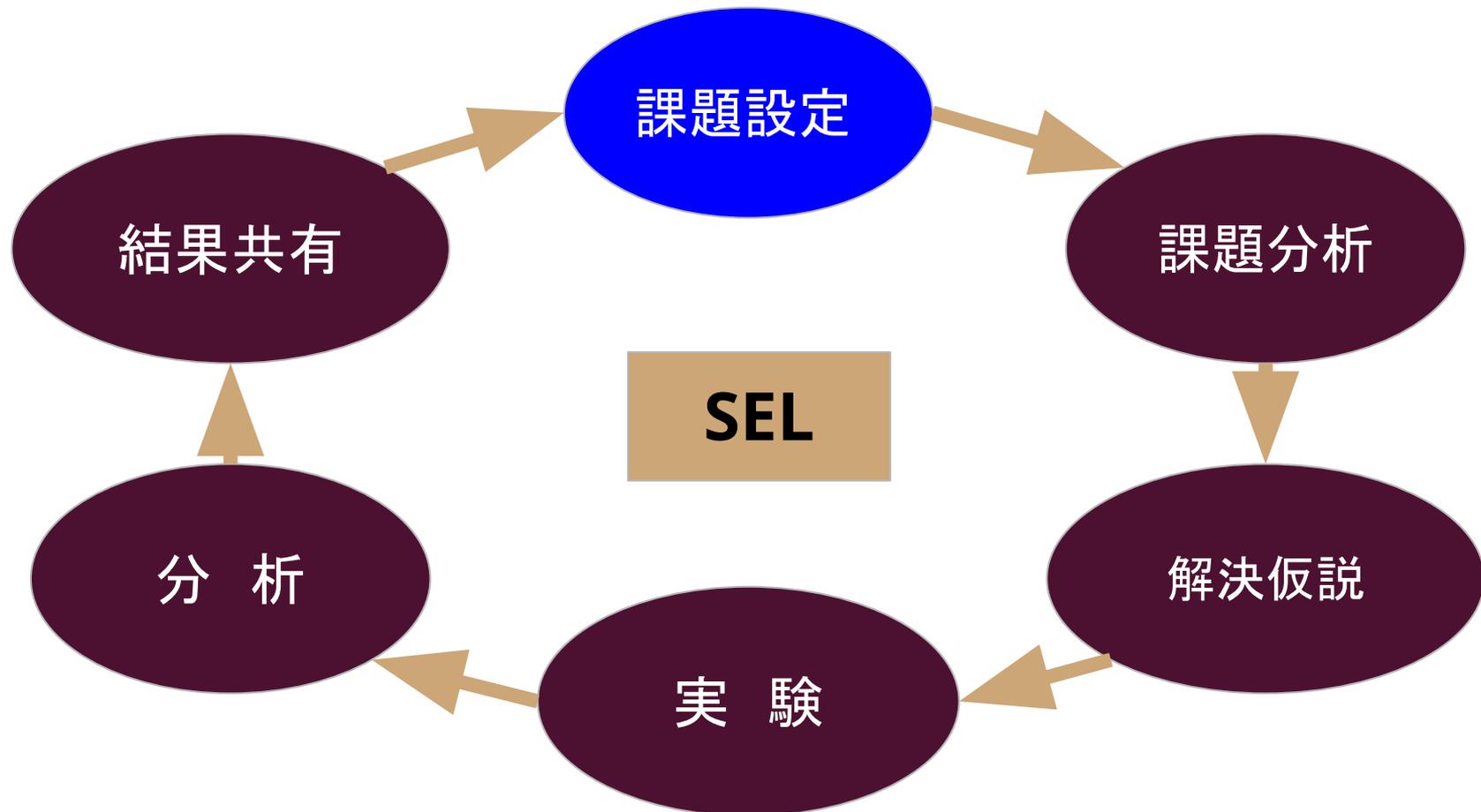
YES

同じ💕

NO



Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



質問を投稿する



採用してもら
うための
条件がわか
らない

スマッシュ
が浮く(卓
球)

すぐまあ
いっかって
なっちゃう

めんど
くさがり

飽き
性

飽き
性

集中力
が続か
ない

お金が
常にた
りない

金が足
りない

寝ても
眠い

いつでも
どこでも寝
てしま

メンタ
ルが弱
い

心配
性

いつも
眠い

ずっと
ねむい

スマホ
を手放
せない

勉強のス
イッチが
入らない

課題提出
ギリギリ
までやる
気が出
ない

スマホから
離れられ
ない

画面の見
すぎで視
力が低下

雑草が
消えな
い

雑草

前髪に時間か
けているのに学校
ついたら自転車
でくずれる

前髪サラサ
ラになりた
い

前髪が
決まら
ない

髪型がう
ま
くない

髪がき
まらない

髪の毛
の量が多
い

髪型う
ま
くない

新しいこと
(髪型など)
に挑戦す
ることが不安

説 ★ ぶ
るうらい
とお★

形成的 アセスメント ピア評価

き
れない
起
き
れない

価値観が似た仲間を見つける



問の共有

形成的 アセスメント ピア評価

9.早く寝る方法
★ 3

10.寝たいときに寝れないのは何故か★ 2

11.寝言を言う理由

12.いびきをする理由

13.歯ぎしりをする理由

14.寝相が悪い理由

15.寝

1.睡眠はなぜひつようなのか

2.何故ねむくなるのか

3.質よい睡眠をとるためには★

4.必要な睡眠時間は

5.何故怖い夢を見るのか★ 1

6.なぜ授業中に眠くなるのか

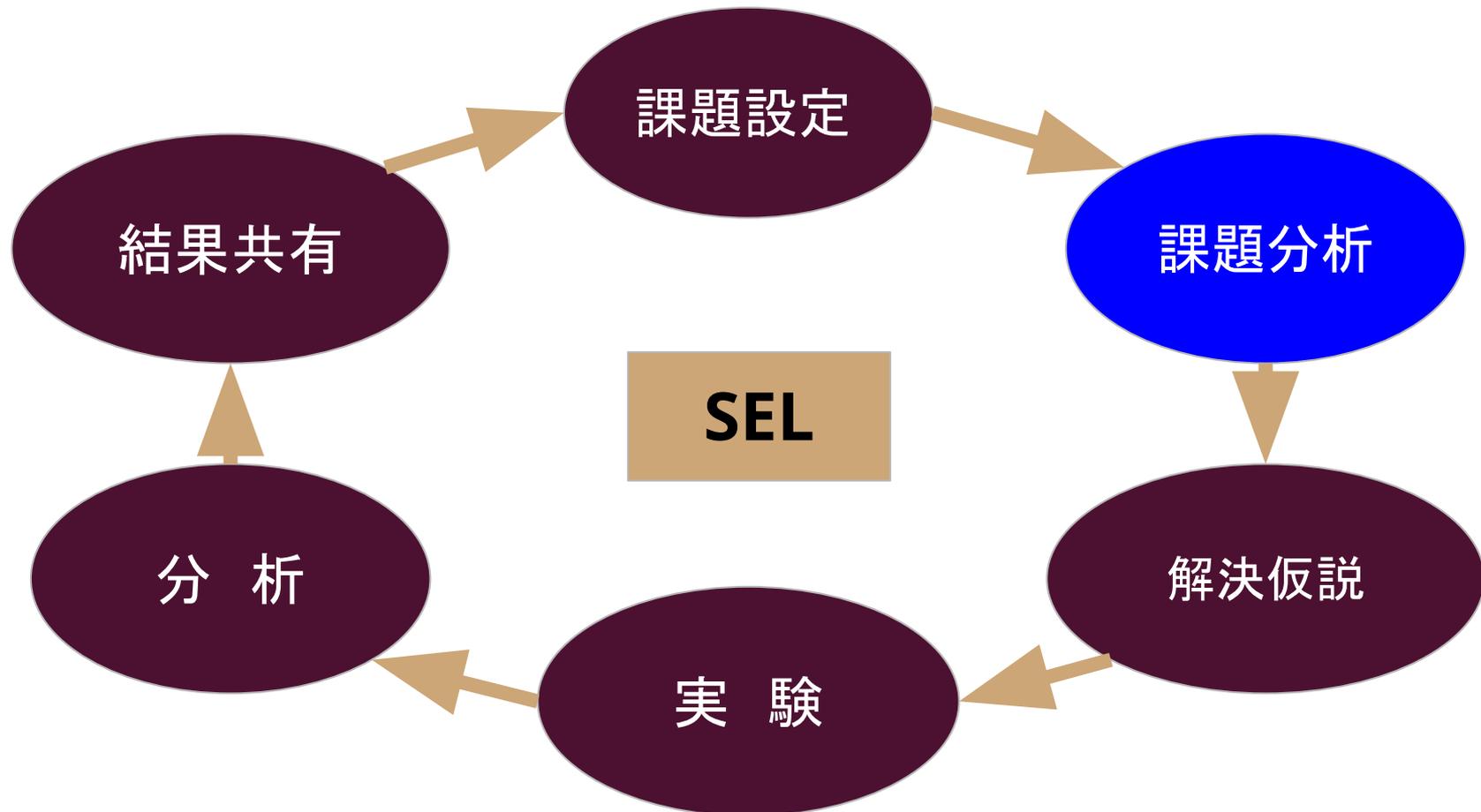
7.なぜ寝ても疲れが取れないのか

8.夜中に何度も起きてしまうのはなぜか

18.夢と現実には関係あるのか

9早く寝る方法はあるのか

Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



問の理解の共有

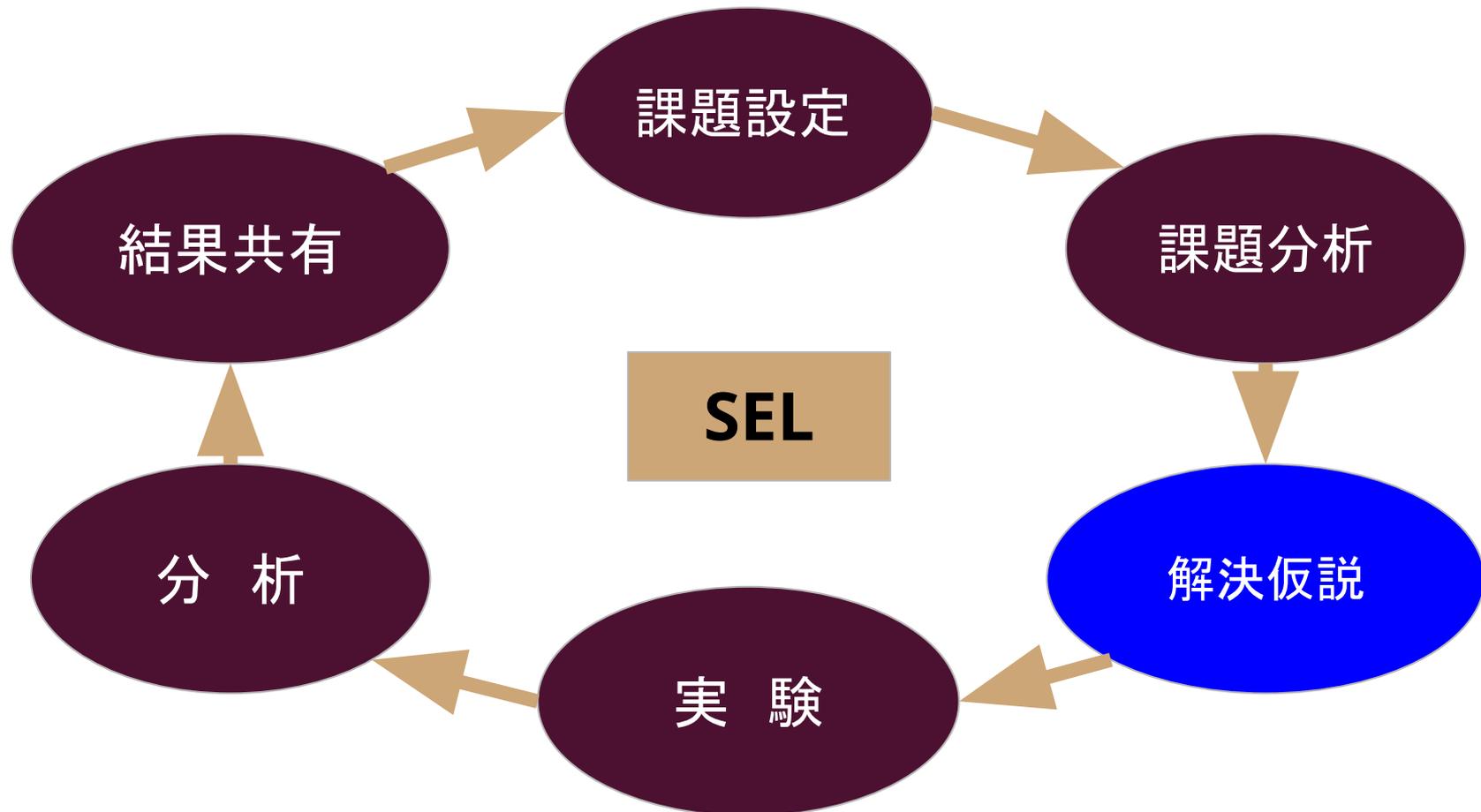
形成的
アセスメント
評価

<チーム毎1分プレゼン>

- ①チームの名前
- ②チームの問
- ③なぜその問いにしたかの理由
- ④調べたことなど

一緒に課題を解決
している！

Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



仮説の共有

<チーム毎1分プレゼン>

9早く寝る
方法はある
のか

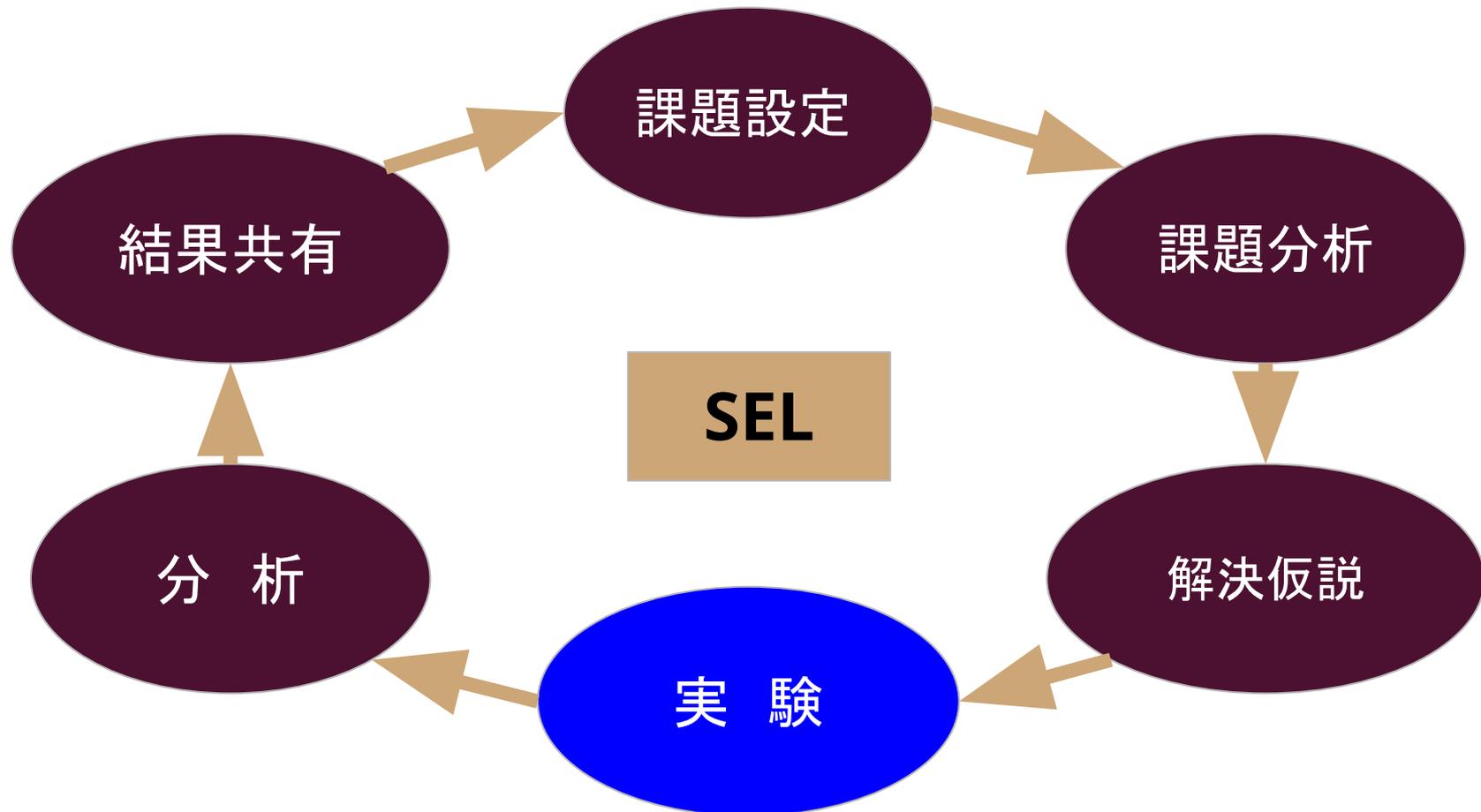
即時性
がある
ものは

目の閉じる
とき閉じな
いときの違
い

形成的
アセスメント
評価



Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



実験結果の共有

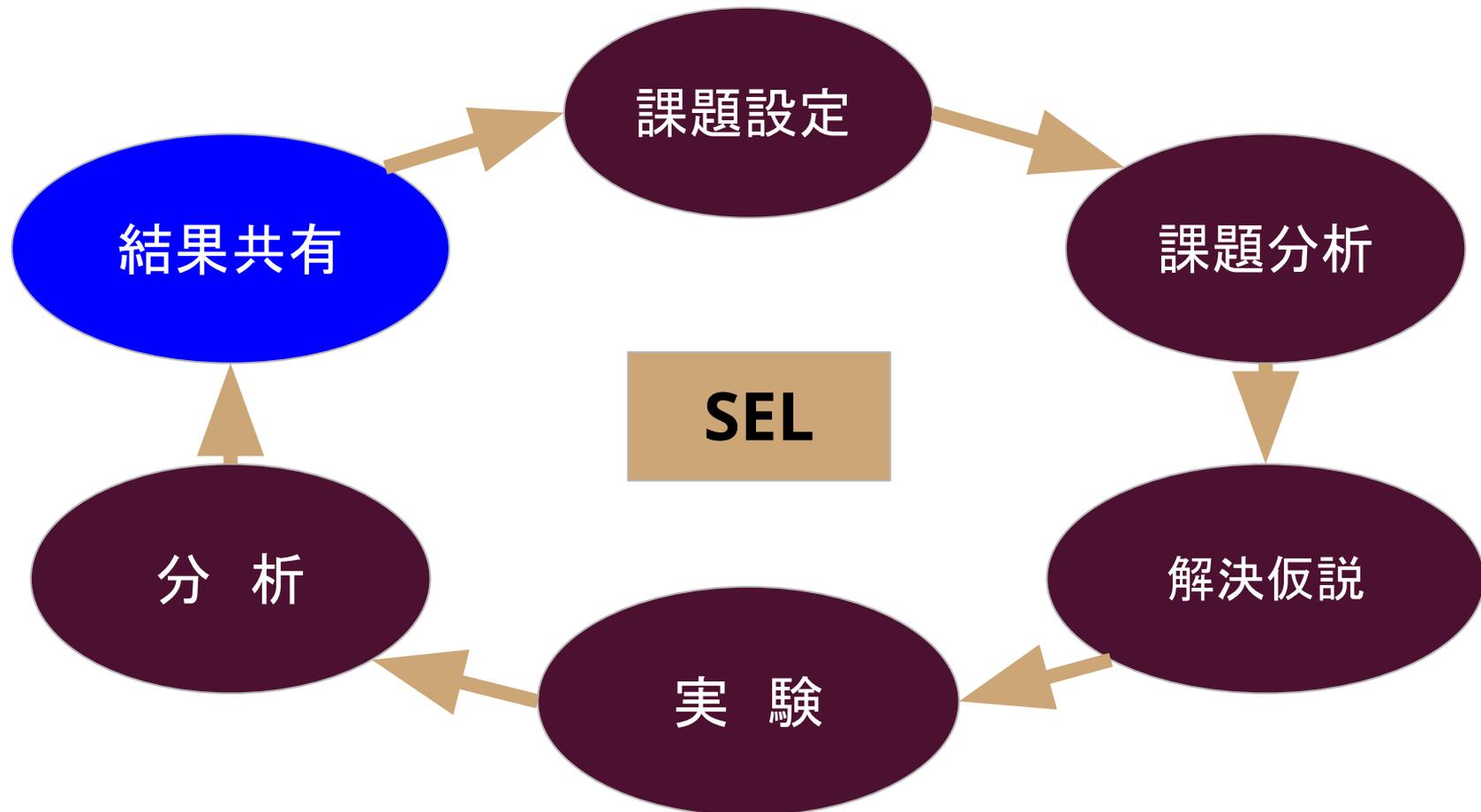
<チーム毎1分プレゼン>

結果

日にち	寝た時間	朝の状態
2023/12/26	11:00	△
2023/12/27	12:00	△
2023/12/28	12:00	○
2023/12/29	11:30	○
2023/12/30	12:15	△
2023/12/31	4:00	○
2024/01/01	12:00	○
2024/01/02	11:30	○
2024/01/03	12:00	△
2024/01/04	11:45	○
2024/01/05	11:00	○
2024/01/06	12:00	○
2024/01/07	11:00	○

形成的
アセスメント
評価

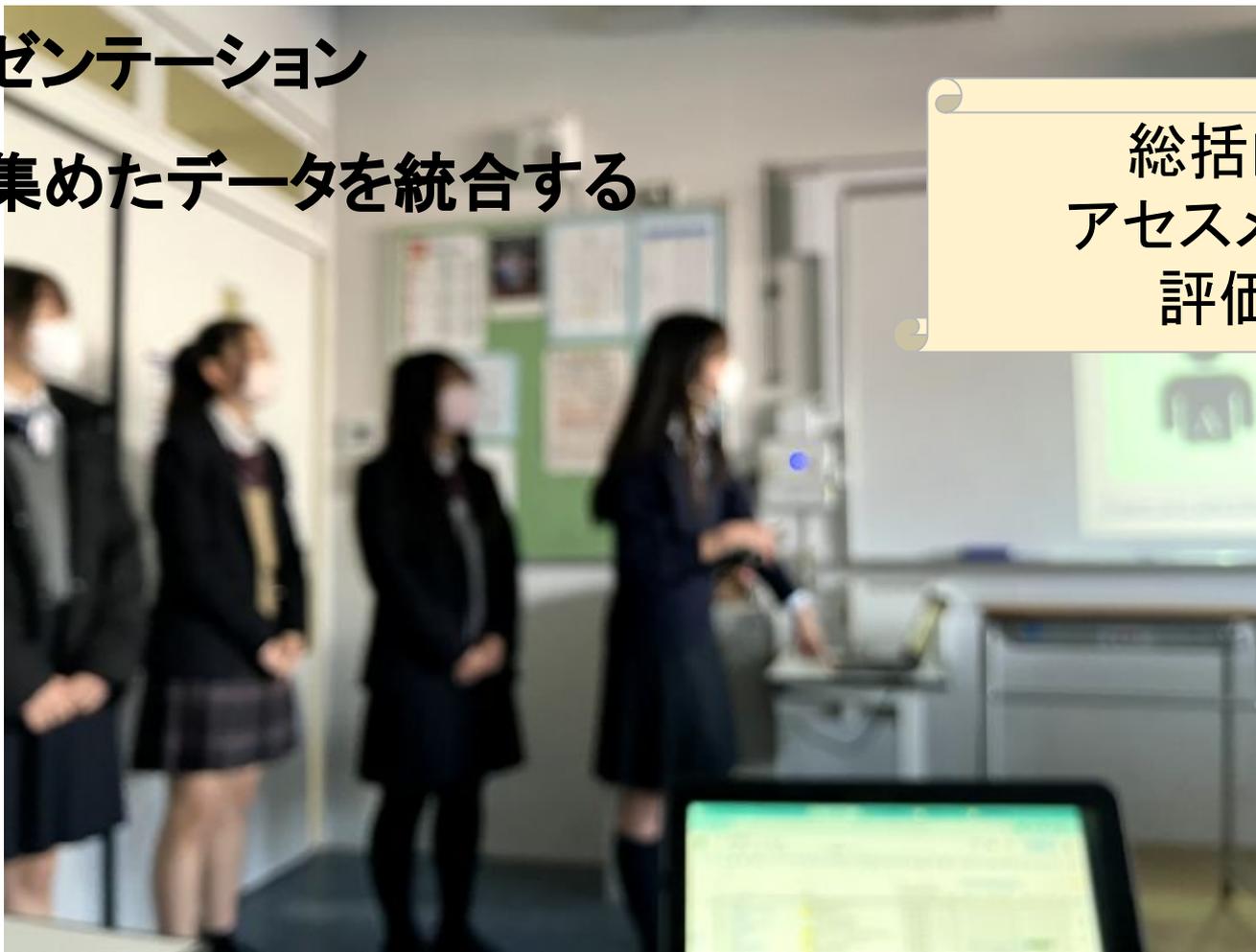
Project Based Learning(PBL) + Social Emotional Learning(SEL)



最終プレゼンテーション

—今まで集めたデータを統合する

総括的
アセスメント
評価



Results

生徒の意見

何を学んだか？

生徒達による授業のアセスメント

以下のことを学べたとの意見がありました。

人間性

他者に親切にすること

他人が何を考えているか

人生をどのように過ごすか

アイデアの共有、お互いの意見への関心

日常生活で起こる問題の解決方法

それぞれの題材・問題について自分自身で考えること(原因、解決策など詳しく)

各々の考えの共有、互いの意見への関心

総括的
アセスメント

Information

情報共有

参考:3月7日開催のイベント

国際シンポジウム AI時代の心の教育 - 観想的な学びとコンパッションの日本的展開

International Think Tank Keio University

**Educating Hearts and Minds in the Age of AI:
Contemplative Education and
Compassion-Based Ethics in Japan**

Date: **March 7, 2024**
9:00-18:00

Venue: **Keio University**
Mita Campus, Japan.

Robert Roeser
Pennsylvania State University,
Professor of Human Development
and Family Studies

Chikako Ozawa-
de-Silva
Linnux University,
Professor of Justice Studies
and Anthropology

Lobsang Tenzin Negi
Fassett University,
Executive Director of SEL Learning

Tadashi Nishihira
Sophia University,
Institute of Grand Care, Professor

Cultivating East-West dialogue, collaboration and co-creation for human flourishing.

Panelists

シンポジウム パネリスト



新妻 雅弘 | 慶應大学シス
テムデザイン・マネジ...



高橋 美保 | 東京大学大
学院教育学研究科



小笠原 莉菜



原田 友美 | 大白向小
学校



今井 朝子 | 自由ヶ
丘学園
高校



Shinji Kamohara | 蒲原 慎
志 | NewsPecks Education



Angel Acosta | Garrison
Institut



本田 陽彦 | 研究者、吟
道家



参考: 4月26日開催のイベント

OECD 社会的情動スキルに関する調査 2023

参加者:

- SSES2023には15カ国から16サイトが参加し、うち6カ国は国全体
- 10歳、15歳(10歳のデータはオプション)



人生の重要な予測因子としての社会的・感情的スキル(仮題)

2024年4月26日公開予定